契約の内容

業 務 の 名 称		R8新試験研究炉 建設候補地の破砕部試料の分析
業 務 概 要		国立研究開発法人日本原子力研究開発機構は、もんじゅサイトにおいて建設を予定している新試験研究炉の設置許可申請に向けた調査・検討を進めている。 本作業では、敷地内盛土部周辺で確認された破砕部について性状等を確認するため、ボーリングコア試料及びブロック試料について条線観察や化学分析を実施の上、既往の地質調査結果等も踏まえて調査地点周辺の地質地盤情報をとりまとめる。
契約名義人の氏名並びに部署の名称及び所在地	契約名義人の役職	財務契約部長
	契約名義人の氏名	松本　尚也
	所属する部署の名称	財務契約部
	所属する部署の所在地	茨城県那珂郡東海村大字舟石川765番地1
契 約 年 月 日		令和8年9月9日
契約の相手方の名称		応用地質株式会社　エネルギー事業部
契約の相手方の名称住所		埼玉県さいたま市南区太田窪2－10－9
契約金額(税込み)		69,300,000円
予定価格(税込み)		70,224,000円
業務場所		福井県敦賀市白木2丁目1番地 国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 高速増殖原型炉もんじゅ 敷地周辺
業務区分		地質調査業務
業務着手の時期		令和8年9月9日
業務完成の時期		令和10年2月29日

随意契約理由書

1 契 約 業 者 名　応用地質株式会社 エネルギー事業部

2 業　務　名　称　R8新試験研究炉 建設候補地の破砕部試料の分析

3 随 意 契 約 理 由

本業務は、もんじゅサイトにおいて断層破砕部の分析・活動性検討を実施するものである。当サイトにて調査ボーリングで取得したボーリングコア試料およびブロック試料を用いて試料分析を行い、既往の地質調査結果等を踏まえて調査地点周辺の地質・地盤情報を取りまとめ、設置許可申請に活用する。

断層破砕部の分析・活動性検討には、高度な技術的判断が不可欠である。試料を整形して断層面を確実に露出させ、組織変形構造を正確に認定し、断層面の形態や活動性を客観的に評価する必要がある。また、分析位置を的確に選定して代表的な断層面を対象とし、観察結果と分析結果を統合して断層のすべり方向・変位量・活動性といった総合的な断層変位構造を明確に認定する技術力が求められる。既往分析結果との互換性をとるためには、これらの技術的判断を一貫性を持って厳格かつ的確に実施する必要がある。

契約相手方は、本件に関わる調査（R7新試験研究炉 建設候補地の地質構造に関する調査業務）を過年度に実施しており、分析結果のとりまとめに際して既往分析結果との互換性をとり、試料の観察手法や破砕部評価について一貫性を持った技術的判断に基づく断層の詳細評価と総合的な断層変位構造を明確に認定することができる唯一の者であったため。